

声 この町に住んで



三迫三丁目

景山

泰男さん

赤穂道への想い

三迫の田畑がつきて山道に入る所に、古びた石の道しるべがあります。「右やま道 左くまのくろせ道」と読め、側面に「寛文」(約三百四十年前)とあります。ここから約二キロ、一時間ほど登ると赤穂峠に着きます。その少し手前に人の背丈の倍位の大岩があり、中央に「仏の顔」がほられています。付近には枯れることのない清水が湧いていたと伝えられています。昭和の初めまで阿賀、安芸津方面への主要道であったこの道を登ってきた旅人が喉をつるおし、仏に手をあわせる様子が眼につかびます。峠を越えると熊野町、三十三の観音様が岩に彫られた「ゆるぎ観音」を経て、「筆の里工房」も指呼の距離にあります。

この度、総合公園から洞所、新峠を経由して赤穂峠まで遊歩道を整備する計画があることをお聞きし、赤穂道の維持にかかわる者として大変嬉しく思っております。

皆様も海田の自然と歴史を求めてぜひ一度おいで下さい。



皆さまから寄せられたお便り

● 予算審査特別委員会の記事が分かりやすく写真つきで書いてあって良かったです。「クイズ」をいつも楽しみに見えています。いつもは「あっあそこにある」と思いながらも、ハガキは出していませんでしたが、今回は初めて出します。今度はどこかな～。今から楽しみです。

● 全面カラーですが、正直じっくり読むことがありません。「広報かいた」の方が内容が身近という事もありますが読みやすいです。(イラストや字体の問題?)

● 一般質問のコーナーでは、質問者の名前があり、とても分かりやすかったです。住んでいる海田町の問題点、今後の課題など自らも考える機会になります。議会だよりこれからも楽しみにしております。

● 子どもが東小に通っています。もうすぐ耐震工事がはじまります。何億円もかけて教育の場を良くしていただけるということで、今まで以上に安心して通わせることができ、感謝しています。

※たくさんのお便り、ありがとうございました。これからどんどんお寄せください。待っています。